

ピロリン酸銅めっき光沢剤

# K A P Y — 3 M

Pyrophosphate -CuPlating Brightener : K A P Y - 3 M

“KAPY-3M”は、ピロリン酸銅めっき浴の光沢剤で、非常に広範囲の電流密度において均一な光沢と良好なレベリング作用を有し、均一電着性及びつきまわりが極めて優れていますので、青化銅めっきの代替としてだけでなく、硫酸度めっきの下付け、プラスチック素材のボタン・ホックなど小物のガラ（回転）めっき等にも卓越した効果を発揮します。

又、“KAPY-3M”は消耗量が非常に少なく、且つ、長時間にわたり性能を持続しますので、ランニングコストが低廉で、光沢剤の維持管理が容易です。

◇ “KAPY-3M”の適用範囲

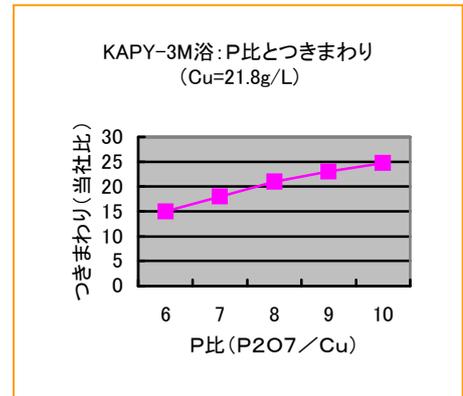
引掛（ラッキング）めっき、回転（ガラ）めっきのいずれにも適用できます。

※金属素地上の硫酸銅、ニッケル下付けめっき、プラスチック上のめっき……等。

◇ 使用方法

(1) 液組成

	濃度範囲(標準)
ピロリン酸銅	50～100(85)g/L
金属銅(Cu)	17～35(30)g/L
ピロリン酸カリウム	270～400(320)g/L
P比(P <sub>2</sub> O <sub>7</sub> /Cu)	6.5～9.3(7.0)
pH	8.6～9.4(9.0)
KAPY-3M	2～4(3) mL/L
※アンモニア水	～5(～3) mL/L



(2) 作業条件：引掛めっきの場合

	標準条件	使用範囲
浴温	55～57℃	50～60℃
陰極電流密度	2～4A/dm <sup>2</sup>	0.1～6A/dm <sup>2</sup>
陽極電流密度	2A/dm <sup>2</sup>	1～3A/dm <sup>2</sup>
攪拌	空気攪拌	
ろ過	濾布のみの間歇ろ過、又は連続ろ過。	
アノード(陽極)	無酸素銅板、又は電気銅。	
“KAPY-3M”の補給方法	作業時間に合わせて補給します(2～3回/日)。 通常、0.6～1mL/L(めっき液1L当たり)/8h	

(注) “KAPY-3M”を回転めっきに使用の場合は、弊社営業所までご相談下さい。

≪皮膜物性≫硬度：200～230Hv←150～200Hv（無光沢）。応力：-1.9Kg/mm<sup>2</sup>（圧縮側）。

## 株式会社 金属化工技術研究所

〒131-0043.墨田区立花 4-28-22. TEL03-3617-4600.FAX03-3617-4688

東京営業所：TEL03-3617-4602 大坂営業所：TEL06-6783-3449 名古屋営業所：TEL052-902-3810